

理地本日 (178)

岐阜	長野	宮城	福島	巖手	青森	山形	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	
(名古屋を経て)	(上田を経て)	(陸羽街道福島を経て)	(陸羽街道並り)	(陸羽街道通り仙臺を経て)	(陸羽街道通り仙臺を経て)	(米澤通り)	(米澤通り)	(下津井及丸龜を経て)	(同前)	(同前)	(倉及青屋を経て)	(小倉及山家を経て)
一〇四	五九	九二	九一	一四〇	九二	〇四	九五	二〇七	三三七	三三四	三〇三	二二四

理地本日 (179)

島根	岡山	広島	山口	和歌山	徳島	大分	熊本	宮崎	鹿兒島	沖縄	北海道
(姫路及津山を経て)	(京都及神戸を経て)	(同前)	(京都及広島を経て)	(大阪を経て)	(明石を経て淡路通り)	(京都及小倉を経て)	(小倉及久留米を経て)	(小倉及大分を経て)	(小倉及熊本を経て)	(鹿兒島及大島を経て)	(陸羽街道青森及函館青小牧を経て)
二三二	一八六	二二二	二六六	一六一	一七八	三三七	三三五	三六八	三八一	五七四	二七六

(三) 都市人口表

二十萬人以上 東京(一、四四五、三六六)大阪(八二二、八五五)京都(三

五三、一三九)名古屋(二四四、四五)神戶(二二五、七八〇)

五萬人以上 横濱、廣島、金澤、仙臺、長崎、函館、福岡、四島、富
山、和歌山、岡山、熊本、鹿兒島、新潟、小樽、堺

三萬人以上 福井、静岡、下ノ關、宇都宮、甲府、高知、松江、大津
高松、那覇、札幌、長野、山形、水戸、盛岡、弘前、姫路、岐阜、前
橋、高岡、津、松本、米澤、松山、佐賀

二萬五千人以上 高崎、奈良、鳥取、久留米、千葉、秋田、宇治、山
田、若松、小倉、青森、谷山村、門司、四日市、八王子、天王寺、

本邦の面積は計凡そ二萬七千〇六十二方里あり内詳左の如し

本邦	州	一四、四九二、三二	七、八九一、一四、五七二、三二	
土地	本邦	地	屬地	合計

(四) 本邦の面積表

四國	一、一五二、三四	二九、四三	一、二八〇、六七
九州	二、三二一、八六	三〇、五、六八	二、六二七、五四
北海道本地	五、〇五六、七八	二七、〇九	五、〇八三、八七
千島三十二島	一、〇一一、四九	一	一、〇一一、四九
佐渡	五六、三三	一	五六、三三
隱岐	二一、八八	〇、〇一	二一、八九
淡路	三六、五五	〇、一四	三六、六九
香取	八、五五	〇、〇八	八、六三
對馬	四三、九五	〇、七七	四、四七
琉球五十五島	一五六、九一	一	一五六、九一
小笠原島三十島	四、五〇	一	四、五〇
臺灣	二、二五三、三四	一	二、二五三、三四
澎湖	八、〇七	一	八、〇七
澎湖	八、〇七	一	六、二六
澎湖	八、〇七	一	二、四五三、三四
澎湖	八、〇七	一	二、四五三、三四

青森五十九狸室蘭七十九狸根室二百九十五狸

新編問答全書 日本地理 終り

官立諸學校入學試驗問題

(日本地理)

高等學校

三三年度

日本輸出入品ノ主ナルモノ五種ヲ舉ゲヨ
三三年度

本邦ニ於ケル師團司令部ノ所在地ヲ問フ

東京高等師範學校

三三年度

(一) 本邦ノ地形ト産業トノ關係ヲ問フ
(二) 本邦汽船ノ海外定期航路及ビ其ノ過經港ヲ問フ

農地學特別試驗

(一) 臺灣ノ地勢ヲ問フ

三十四年度 豫科

(一) 我國農業及農産物ニ就キ知レル所ヲ記セ

官費專修科(國漢英)共通

三十五年度

(一) 本邦ノ雨量配布ヲ記セ

(二) 我國諸山脈ノ系統ヲ記セ

三十六年度 豫科

(一) 日本ノ主要ナル火山脈ヲ述ベヨ

官費專修科(數學)

(一) 湘戶内海ノ産業交通氣候ニ就キテ知ル所ヲ記セ

三十七年度 豫科

(一) 左ノ地ニ就キ知ル所ヲ記セ

行橋 管子峠

三十八年度 豫科

(一) 左記地名ノ位置概況ヲ問フ

鹿沼

三十九年度 豫科

(一) 日本ノ石炭産地ニ就キテ知ル所ヲ記セ

海軍機關學校

三十三年度

左ノ諸國ニ屬スル著名ナル港灣各一ツヲ舉ケヨ

渡島 後志 釧路 陸前 羽後 越中

三十四年度

本邦内公私造船所ノ所在地ヲ問フ

三十五年度

(一) 海軍鎮守府所在ノ地ヲ問フ

(二) 日本全國ノ略圖ヲ畫キ本州ト諸島トノ間ニ在ル諸海峡ノ名ヲ

記セ

三十六年度

(一) 神戸ヨリ小樽ニ至ル日本郵船會社西廻線(瀬戸内海及ビ日本

海經由)定期汽船ノ寄港地ノ名稱及ビ其ノ所在ノ國名ヲ問フ

(二) 臺灣圖ヲ畫キ左ノ諸地ノ位置ヲ圖上ニ記入セヨ

湯東 臺北 基隆 安平 打狗

三十七年度

本邦師團所在地ノ名稱ヲ列記セヨ

本邦ニ於ケル鐵、石油及石炭ノ主要ナル産地各々ニケ所ノ名稱ヲ

列

三十八年度

左ノ諸地ノ位置ヲ問フ

伏見 高山 宮古 高岡 小樽 中津 慶原 岩國 洲本 米子

三十九年度

(一) 人口五萬以上ヲ有スル縣廳所在地十ヶ所ヲ舉ゲヨ

(二) 左ノ諸海峡ノ位置ヲ問フ

鳴門 津輕 津波 對馬 宗谷 下關 千島 臺灣

四十年度

左ノ諸地ノ位置ヲ別紙ノ圖中ニ記入セヨ

舞鶴 八代 石巻 室蘭 小浜 洲本 慶原

高等商業學校

三十三年度

(一) 臺灣ノ山脈ト氣候トノ關係
三十四年度

(二) 北海道、琉球、臺灣等諸島住民ノ性質及衣食住如何ナルカ
三十五年度

(一) 樺太山系ノ述ベヨ

(二) 八重山列島ノ位置ヲ述ベヨ

(三) 北海道東部ノ要港ヲ舉ケヨ

三十六年度

(一) 本州中區(東京、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、長野、神奈川、山梨、静岡、愛知、三重、岐阜、滋賀、福井、石川、富山、一府十六縣)ノ略圖(府縣ノ境界ヲ明カニスルコト)ヲ描キテ次ノ問ニ答ヘヨ

(イ) 赤石山脈、木曾山脈、飛騨山脈、關東山脈、那須火山脈、富士山

樂毅火山脈

(ロ) 信濃川、利根川、富士川、天龍川、木曾川、九頭龍川、神通川

(ハ) 地方廳所在地

(ニ) 貿易港

(ホ) 中央線ト稱スル鐵道線路(既設未設共ニ)

(ヘ) 關東平野ノ區域(海面上凡ソ三メートル以下ノ低地)

(ト) 次ノ語ニツキ知レルトコロヲ述ベヨ

小樽

三十七年度

(一) 我國ノ産業中、世界地理ノ上ヨリ觀テ重要ナルモノ三ツヲ舉ゲ、左ノ問ニ答フベシ

(イ) 日本ノ略圖ヲ描キテ、其産業ニ屬スル主要産物ノ配布ヲ示シ、併ヒテ各産物ノ集散地(地方若クハ郡邑)ヲ圖上ニ記ス

(一) 此等産物ノ貿易品トシテノ販路及ビ其景況ヲ叙述スルコト
四十年度

(二) 本邦近海海流ニ就テ述ベヨ

陸軍幼年學校

三十三年度

(一) 左ノ川ニ瀕セル都會ニシテ其最モ大ナルモノ、地名一個宛ヲ

記セ

珠摩川 大淀川 岩國川 (線川) 千代川 紀川 矢作川 (矢

矧川) 狩野川 那珂川 御物川 神通川

(二) 左ノ縣廳ノ所在 名及地名ヲ記セ

岩手 福島 群馬 栃木 山梨 富山 鳥根 香川 佐賀 宮崎

三十四年度

(一) 與ヘラレタル日本地圖内ニ各縣郡國名記ヲ入セヨ (圖附略)

(二) 左ニ記載スル名稱ノ所在國名ヲ記セ

琵琶湖 諏訪湖 猿間湖 霞ヶ浦 八郎潟 シンシ湖 別子銅山

霧島山 夕張岳 阿蘇山

(三) 日本ノ三大火山脈ヲ舉ゲ及其位置ヲ示セ

三十五年度

(一) 日本帝國四而ノ海洋及ビ近隣諸國ノ名稱ヲ記セ

(二) 左ノ師團司令部ノ所在地ヲ記セ

第三師團

第四師團

第六師團

第九師團

第三師團

第五師團

第八師團

第十師團

第十一師團

第十二師團

三十六年度

左ノ縣ノ縣廳所在ノ國名及ビ地名ヲ記セ

- 神奈川縣 埼玉縣 茨城縣 栃木縣 群馬縣 山梨縣 愛知縣
- 三重縣 滋賀縣 石川縣 富山縣 岐阜縣 兵庫縣 島根縣
- 川縣 愛媛縣 福岡縣 沖繩縣 大分縣 山口縣

海軍兵學校

三十四年度

- (一) 山陽鐵道 東海鐵道 日本鐵道ノ幹線ヲ別紙圖中ニ畫ケ
- (二) 北海道ノ國名ヲ圖中ニ記入セヨ(地圖消路)

三十五年度

- (一) 東海道ノ三大灣及本洲ノ大半島國ヲ舉ゲヨ

(一) 我國軍港ノ名及其所在國名ヲ問フ
三十六年度

- (一) 海流ノ我國ノ氣候ニ及ボス影響ヲ詳述セヨ
- (二) 東南諸島 五島列島 隱岐 淡路 壹岐 四國 左波 對馬
ヲ別紙第壹圖ニ記入セヨ

三十七度

- イ 本邦ノ大河十以上ヲ舉ケヨ
- ロ 本邦ノ骨子トナセル山脈ヲ記セ
- ハ本邦ニ於ケル人口十方以上ヲ有スル都會五以上ヲ順次ニ記セ

三十八年度

我國沿岸ノ最深キ地方ヲ問フ

三十九年度

次ノ港ノ在ル國名ヲ示セ

- 一 那覇
- 二 宮津
- 三 糸崎
- 四 伏木
- 五 佐須奈
- 六 境
- 七 室蘭
- 八 法水
- 九 夷
- 十 小樽
- 十一 濱川
- 十二 嚴原
- 十三 博多
- 十四 敦賀
- 十五 釧路
- 十六 三角
- 十七 七尾
- 十八 四日市

四十年度

- (一) 北海道ノ略圖ヲ畫キ
- (1) 宗谷岬
 - (2) 襟裳岬
 - (3) 函館
 - (4) 室蘭
 - (5) 小樽
 - (6) 札幌
- ヲ記入スベシ

陸軍士官學校

三十三年度

- (二) 下ノモノハ何國ニアリヤ横須賀 舞鶴 吳 佐世保 關ヶ原

川中島 石橋山 腰ヶ岳 一ノ谷 湊川 城山 田原坂 金剛山 莖道 檀浦

三十四年度

左ニ列記セル名稱ノ所在ノ地名ヲ記セ

厨川 船上山 白旗山 佐須那港 伏木港 五稜廓 石橋山 箱崎 鹿見港 鹿ノ川 白河 古河 金ヶ崎 院ノ庄 三見港 口ノ津港 境港 七尾港 淡水港 小樽港

三十五年度

略圖ヲ畫キ次ノ事項ヲ記入セヨ

信濃川 石根川 木曾川 淀川 筑後川

三十六年度

(三) 左ノ所在國名及歴史上著名ナル事蹟

- 一 矢口ノ渡
- 二 富士川
- 三 蛭ヶ島
- 四 平戸
- 五 浦戸

六 ヒヨドリ越 七 牡丹社 八 厨川 九 厨川 十 磯崎
三十七年度

我國ノ形狀ト主ナル水系トヲ略圖シ此ノ圖中相當ノ位置ニ各師團司令部ト各軍港ト臺灣總督府トノ所在及ビ其ノ名稱ヲ記入セヨ
三十八年度

我國ニ於テ縣廳名ト所在地トノ各種ノ異ナル縣廳名ヲ舉ゲ且ツ管轄國名ノ大略ヲ記セヨ
四十年度

(一) 左ノ各品ニ就キ本邦ノ産額最モ多キ府縣名ヲ舉ケヨ
陶器 大豆 麻織 絹絲 和紙 羽二重 茶 米 生絲 銀

商 船 學 校

三十三年度

(一) 日本海沿岸ノ要港ヲ列記セヨ

(二) 外國ニ輸出スル重ナル物品及ビ産出地ヲ問フ

(三) 九州ノ海岸線ノ概況ヲ述ベヨ

三十四年度

(一) 本邦四大島ヲ分ツ海峽河口ヲ問フ

(二) 山陰山陽二道ノ主ナル産物ヲ問フ

(三) 東海道及奥羽ノ良港ヲ列記スベシ

三十五年度

下ニ記シタル物産ノ日本ノ産地

花蓆 石炭 硫黃 陶磁器 生糸 羽二重

三十六年度

(一) 九州ノ炭田ノ所在ヲ記セ

(二) 瀬戸内海中ニ於ル要港及海峽ヲ記セヨ

(三) 本邦ノ海流ノ概記スベシ

三十七年度

(二) 九州ノ海岸線及燈臺ノ所在ヲ記セ

三十八年度

(一) 北海道及千島ノ位置ト地勢ヲ問フ

三十九年度

(一) 北海道ノ地勢及其河流ニ就テ詳記セヨ

(三) 本邦ノ日本海ニ面スル岬角及港灣ヲ舉ゲ其位置ヲ示セ

四十年度

九州ノ炭田及港ノ名稱ヲ舉ゲヨ

東京美術學校

三十三年度

(一) 左ニ列記スル湖沼ノ所在地ヲ問フ

猪苗代湖 八郎潟 中禰寺湖 龍浦 廣湖 諏訪湖 琵琶湖

(二) 東海道中海ニ面セサル國名ヲ舉ゲヨ

(三) 小倉ノ位置及市況ヲ記セ

三十四年度

(一) 本邦東西兩海岸ノ寒暖ヲ比較セヨ

(二) 奈良ニ於ケル神社佛閣ノ著大ナルモノヲ舉ゲヨ

(三) 左ノ市邑ノ所在國ヲ問フ

長野 群鶴 鳥羽 洲本

三十五年度

(一) 名古屋 廣島 金澤 熊本ノ諸市ハ何レモ海岸ヲ距ルノ地ニ

位セリ此諸市ニ或ハ此諸市ヨリ海路ニ由リテ貨物ヲ出入セシ

メンニハ各如何ナル海港ニ由ルヤ

水産講習所

三十五年度

- (一) 湘戸内海ニ於テ九州ノ東北端ヨリ紀伊ノ國ノ西南端ニ至ル迄著名ナル海峡ノ名ヲ舉ケヨ
- (二) 我國造船場及ヒ船渠ノ所在地ヲ舉ケヨ
- (三) 左ノ各港ノ所在地ヲ記セ(何國何海岸等其位置ヲ詳記スヘシ)
- 七尾 伏木 宮津 濱田 三角 鹿見

三十六年度

- (一) 普通貿易港ト特別貿易港トハ如何ナル點ニ於テ相違アルカ且其港名ヲ各別ニ記セ
- (二) 五島烈島中ニ在ル島嶼名ヲ大小ノ順ニヨリ記セ
- (三) 我邦ニ於テ製鹽業ノ最盛ナル地方ヲ問フ

三十七年度

- (一) 我國ニ於テ國トシテ半島及ヒ島ヲ成セルモノヲ悉ク列舉セヨ
- (二) 左ニ掲ケタル湖沼ヲ大小ノ順ニヨリ列記シ其下右傍ニ湖字ヲ以テ所在縣名ヲ記セ

諏訪湖 霞 浦 中宮湖(中禪寺湖) 琵琶湖 印旛沼 十三湖
八郎湖 芦ノ湖 猪苗代湖

(三) 我國水産物輸出品ノ主ナルモノ三ヲ舉ゲヨ
三十八年度

- (一) 陸前金華山沖ヨリ陸奥國尻矢崎間ニ於テ得タル漁獲物ヲ賣場カントス此間ニ於テ最モ適當ナル港ニ三ヲ舉ゲヨ
- (二) 海外輸出水産物ノ重要ナルモノ五種ヲ舉ゲ其主ナル需用地ヲ説明セヨ

三十九年度

- (一) 樺太ニ於ケル特有生産物ノ種類ヲ記セ
 - (二) 本邦ニ於テ捕鯨業并ニ牡蠣及鯉養殖業ノ最も盛ナル地ヲ問フ
- 四十年度
- (一) 樺太近海ニ於ケル海流ヲ列舉セヨ

中學檢定

三十六年度

- (一) 本邦太平洋岸地方ト日本海岸地方ト人文發達ノ程度異ルハ何故ナルカ
 - (二) 我國ト英國トノ國體及政體ヲ比較シテ其異同ノ要點ヲ述ベヨ
 - (三) 次ノ各項ニツキテ知ル所ヲ記スベシ
- (1) ロノ津

(2) 伏木

三十八年度

- (一) 吾國綿紡織ノ原料ハ主ニ如何ナル國ヨリ輸入シ其製品ハ如何ナル國ニ輸出セラルヤ

三十九年度

- (一) 我國ニ於ケル茶及ビ葉煙草ノ主要産地ヲ問フ

山口高等商業學校

三十八年度

- (一) 吾邦ニ於ケル石炭石油銅鐵硫黃アンチモニーノ主ナル産地國名各一ヲ舉ゲヨ

三十九年度

- (一) 樺太島北緯五十度以南ノ略圖ヲ描キ之ニ左記ノ處ノ所在ヲ記

片岡岬 海豹島 七郎灣 近藤岬 東伏見灣 對馬崎 千歲灣
重慶岬 海馬島 明宮海峽

神戸高等商業學校

三十六年度

(一) 本邦ニ於ケル火山脈ノ配布ヲ説明セヨ

(二) 本邦ノ雨雪ハ主ニ如何ナル所ヨリ來ルカヲ説明セヨ

(三) 東海道及ビ西海道(對馬、沖繩ヲ除ク)ニ於ケル外國貿易港ヲ

舉ゲ併セテ其所屬縣名ヲ舉ゲヨ

三十九年度

(一) 我國ノ重要輸出品四ツヲ舉ゲ其各ニ就テ主要産地(縣名ヲハ國名)ヲ記セ

四十年度

我國ノ主要工産物中主トシテ其原料ヲ外國ニ仰クモノ二種ヲ選ビ其各ニ就テ原料産地及内地製造ノ狀況ヲ略述スベシ

名古屋高等工業學校

四十年度

我國ノ産物ノ産出ニ就キテ知ル所ヲ記セ

郵便電信學校

三十三年度

日本海ニ面セル本道沿岸ニ接近セル重要ナル村口及ビ港灣ヲ掲ゲ

三十四年度

我國ニ於ケル漆器、陶器、織物及ビ、紙ノ重要ナル産出地ヲ問フ
三十五年度
歐米ヨリ日本ヘノ重要ナル輸入品及ビ産地ヲ舉ゲ

明治四十一年二月廿六日印刷
明治四十一年二月廿九日發行

複製 不許
翻印 禁止

一(正價金貳圓)一

編纂者	嶋村東洋
發行者	辻本末吉
印刷者	熊田
印刷所	熊田活版所

東京市神田區美神保町七番地
東京市神田區錦町三丁目廿五
東京市神田區錦町三丁目廿五

發行所

東京市神田區美神保町
電話本局(二七五三)

修學堂書店

日本地理會社

